UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇MKU-922044-0000-20241209◇

ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2024年６月８日～2024年12月９日

第 237 期 決算日：2024年７月８日　第 240 期 決算日：2024年10月７日
第 238 期 決算日：2024年８月７日　第 241 期 決算日：2024年11月７日
第 239 期 決算日：2024年９月９日　第 242 期 決算日：2024年12月９日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、主として円建て外国投資信託への投資を通じて、世界各国のハイイールド債券を高位に組み入れた運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第242期末（2024年12月９日）	
基準価額	5,407 円
純資産総額	28,479 百万円
第237期～第242期	
騰落率	＋0.2 %
分配金合計(*)	60 円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。
（＊）当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法　https://www.am.mufg.jp/　［ファンド検索］にファンド名を入力　各ファンドの詳細ページで閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

■当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間：営業日の９：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）

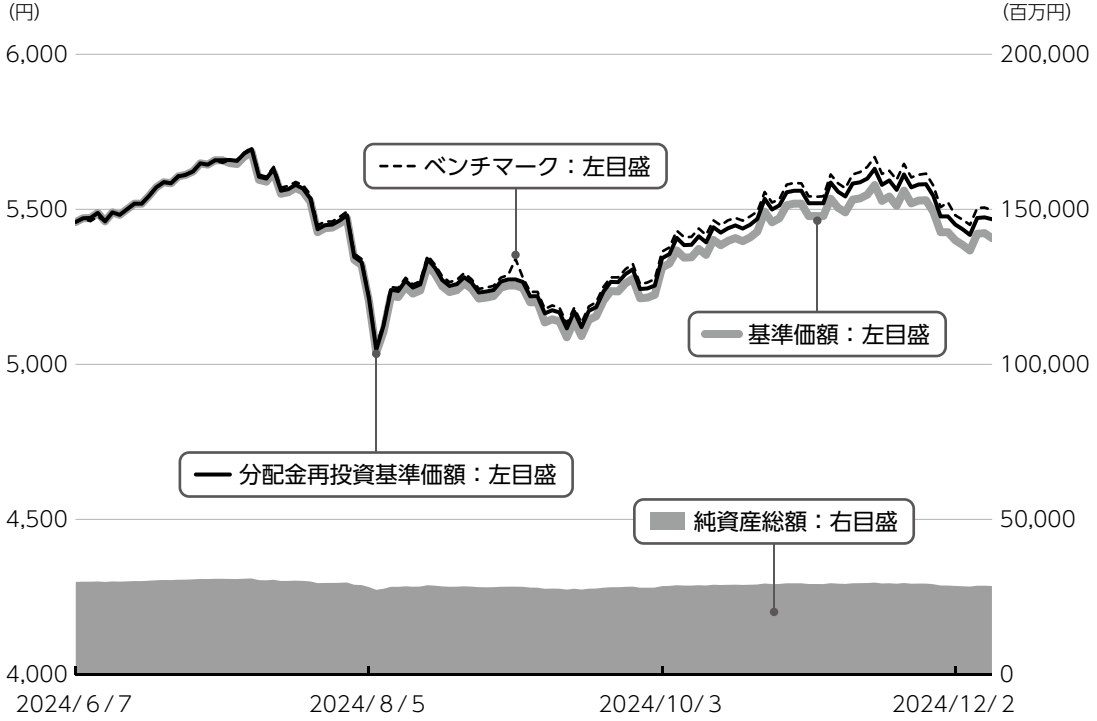
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第237期～第242期：2024年６月８日～2024年12月９日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第237期首	5,459円
第242期末	5,407円
既払分配金	60円
騰　落　率	0.2%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2％（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（0.7％）を0.5％下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

ハイイールド債券市況が上昇したこと等が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルとユーロが対円で下落したこと等が、基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、ICE BofA 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（ＢＢ－Ｂ、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2024年６月８日～2024年12月９日

１万口当たりの費用明細

項目	第237期～第242期 金額（円）	第237期～第242期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	42	0.781	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(24)	(0.446)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(17)	(0.307)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.002	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	42	0.783	

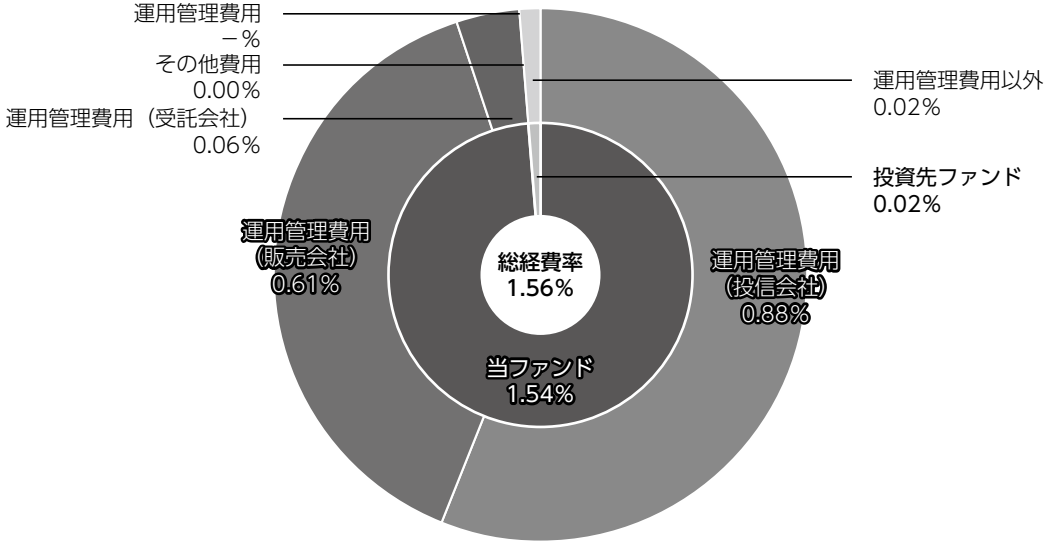
作成期中の平均基準価額は、5,402円です。

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.56％**です。

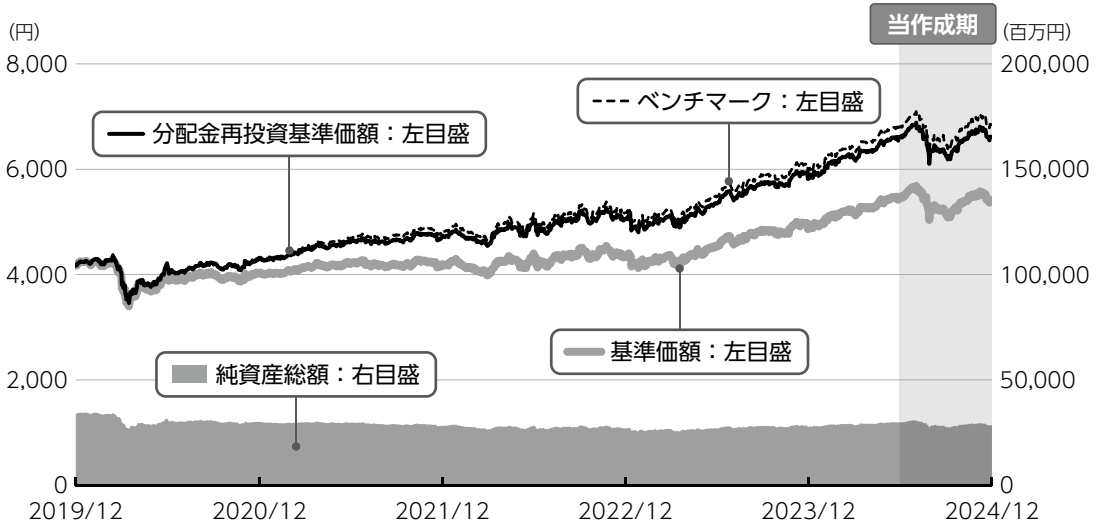


総経費率（①＋②＋③）	（％）	1.56
①当ファンドの費用の比率	（％）	1.54
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	（％）	－
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	（％）	0.02

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）入手し得る情報において含まれていない費用はありません。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年12月９日～2024年12月９日

最近５年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2019年12月９日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近５年間の年間騰落率

		2019/12/9 期初	2020/12/7 決算日	2021/12/7 決算日	2022/12/7 決算日	2023/12/7 決算日	2024/12/9 決算日
基準価額	(円)	4,169	4,027	4,160	4,336	4,970	5,407
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	255	240	130	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	－	3.0	9.4	7.4	17.7	11.3
ベンチマーク騰落率	(%)	－	3.7	11.0	7.7	18.0	12.2
純資産総額	(百万円)	33,918	30,066	28,107	27,030	28,253	28,479

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、ICE BofA 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（ＢＢ－Ｂ、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第237期～第242期：2024年６月８日～2024年12月９日

投資環境について

債券市況

ハイイールド債券市況は上昇しました。

ハイイールド債券市場では、欧米の中央銀行による利下げ観測の高まり等を背景に投資家のリスク選好姿勢が強まったこと等からスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。スプレッドが縮小したこと等から、ハイイールド債券市況は上昇しました。

為替市況

米ドルとユーロは対円で下落しました。

米ドルは、インフレ鈍化を示唆する経済指標の発表を受けた米国の利下げ観測の高まりや日銀の利上げなどから対円で下落しました。その後、日銀の利上げ観測の後退や米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことなどを受けて米ドルは対円で上昇したものの、期間を通じてみると対円で下落しました。

ユーロは、欧州景気の減速懸念から欧州中央銀行（ＥＣＢ）による利下げ観測が高まったことなどを背景に、対円で下落しました。

国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

円建て外国投資信託への投資を通じて、日本を除く世界のハイイールド債券を高位に組み入れた運用を行いました。同時に、マネー・マーケット・マザーファンドの一部組み入れを行いました。

▶ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイインカム　ファンド　ＪＰＹ

当期間では、デフォルト（債務不履行）率は緩やかな上昇傾向にあるものの、依然として過去平均を下回る低い水準を維持しており、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）水準が長期的な平均に比べ縮小しているなかで、インフレの再加速や地政学リスクの高まりなどにより投資家心理が悪化する場合には注視が必要であると考えておりました。しかし、ハイイールド債券を発行する企業の多くは2020年から2021年の低金利環境下で借り換えを行っており、十分な手元流動性を確保していることから、一部の脆弱な企業を除いてファンダメンタルズの健全性は維持されるとみておりました。このような環境下、運用に関しては、リスクの取得には慎重な姿勢を維持しながらも、投資妙味のある業種・銘柄の選別を行いました。

具体的には、コロナ禍後の航空需要の回復の恩恵を受ける航空セクター等への投資を積極姿勢としました。一方、長期的な成長が見込みづらい固定通信や、Ｅコマース市場の拡大が加速するなか、対面販売への依存度が高い一部の小売等のセクターへの投資を消極姿勢としました。

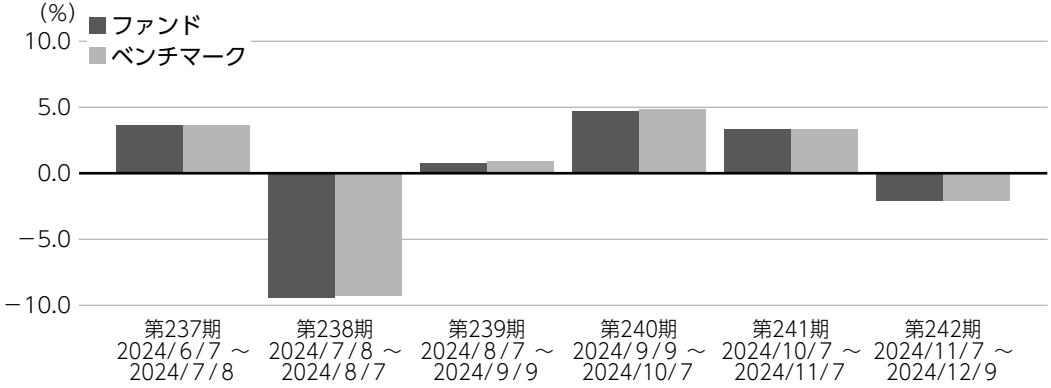
▶マネー・マーケット・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

第237期～第242期：2024/6/8～2024/12/9

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

▶ ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

基準価額（分配金再投資ベース）は、ベンチマークに比べ、0.5％のアンダーパフォームとなりました。
主な要因は以下の通りです。

外国投資信託保有以外の要因
（マイナス要因）
主に信託報酬等のコストによるものです。

外国投資信託保有による要因
（プラス要因）
通信セクターの銘柄選択効果がプラスに寄与したこと。

（マイナス要因）
テクノロジーセクターの銘柄選択効果がマイナスに影響したこと。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第237期 2024年6月8日～ 2024年7月8日	第238期 2024年7月9日～ 2024年8月7日	第239期 2024年8月8日～ 2024年9月9日	第240期 2024年9月10日～ 2024年10月7日	第241期 2024年10月8日～ 2024年11月7日	第242期 2024年11月8日～ 2024年12月9日
当期分配金 （対基準価額比率）	**10** (0.177%)	**10** (0.195%)	**10** (0.194%)	**10** (0.186%)	**10** (0.180%)	**10** (0.185%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	622	638	653	670	687	699

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

引き続き円建て外国投資信託への投資を通じて日本を除く世界のハイイールド債券を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンドの組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざす方針です。

▶ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイインカム　ファンド　ＪＰＹ

運用に関しては、リスクの取得には慎重な姿勢を維持しながらも、投資妙味のある業種・銘柄の選別を行う方針です。
具体的には、コロナ禍後の航空需要の回復の恩恵を受ける航空セクター等への投資を積極姿勢とします。一方、長期的な成長が見込みづらい固定通信や、Ｅコマース市場の拡大が加速するなか、対面販売への依存度が高い一部の小売等のセクターへの投資を消極姿勢とします。

▶マネー・マーケット・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。
以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

・該当事項はありません。

▶ その他

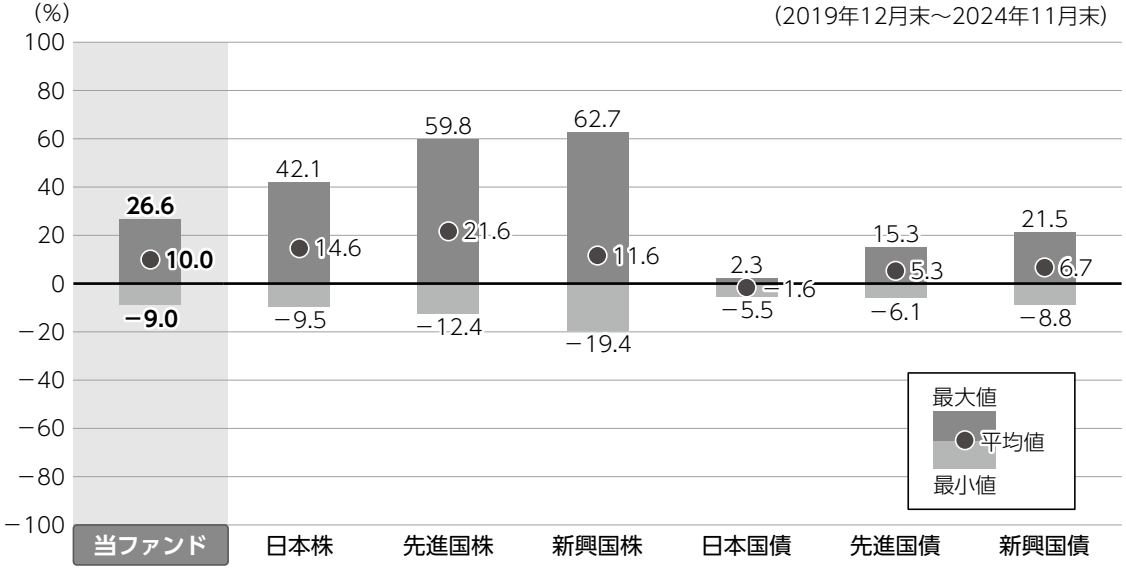
・東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。（2024年11月５日）

＊本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から２ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2004年９月30日設定）
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド　ＪＰＹおよび証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（ＭＢＳ）、資産担保証券（ＡＢＳ）等に実質的な投資を行います。ICE BofA 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（ＢＢ－Ｂ、円ベース）をベンチマークとします。実質的に投資する公社債は、原則として取得時においてＢ－格相当以上の格付を有しているものに限るものとし、ポートフォリオの実質的な平均格付は原則としてＢ－格相当以上を維持します。ポートフォリオの実質的な平均デュレーションは原則としてベンチマーク±２年以内で調整します。実質的な組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。
主要投資対象	**■当ファンド** ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド　ＪＰＹ投資信託証券、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を主要投資対象とします。
	■ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド　ＪＰＹ 世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（ＭＢＳ）、資産担保証券（ＡＢＳ）等を主要投資対象とします。原則として為替ヘッジは行いません。
	■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
運用方法	世界各国のハイイールド債券を実質的な主要投資対象とし、相対的に利回りの高い社債等へ分散投資することにより、高い利子収入の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年12月から2024年11月の５年間における１年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日　本　株	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先 進 国 株	ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）
新 興 国 株	ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日 本 国 債	ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）
先 進 国 債	ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）
新 興 国 債	ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年12月９日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：２銘柄）

ファンド名	第242期末 2024年12月９日
ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド　ＪＰＹ	98.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

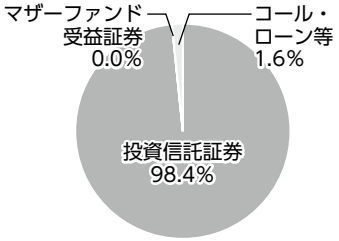
純資産等

項　目		第237期末 2024年7月8日	第238期末 2024年8月7日	第239期末 2024年9月9日	第240期末 2024年10月7日	第241期末 2024年11月7日	第242期末 2024年12月9日
純資産総額	(円)	30,760,193,851	27,608,368,330	27,594,122,705	28,738,095,607	29,399,221,843	28,479,734,892
受益権口数	(口)	54,453,883,789	54,069,265,052	53,735,666,177	53,543,465,854	53,123,332,649	52,675,725,494
１万口当たり基準価額	(円)	5,649	5,106	5,135	5,367	5,534	5,407

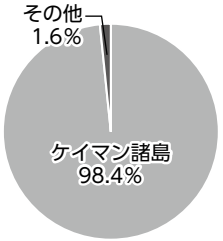
※当作成期間中（第237期～第242期）において追加設定元本は386,000,753円
同解約元本は2,334,913,576円です。

種別構成等

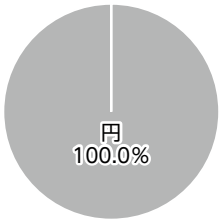
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2024年２月29日現在

組入上位ファンドの概要

▶ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド　ＪＰＹ

基準価額の推移

2023年２月28日～2024年２月29日

基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド」ベースで表示しています。

１万口当たりの費用明細

2023年３月１日～2024年２月29日

１万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

▶ピムコ　ケイマン　グローバル　ハイ　インカム　ファンド

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：414銘柄）

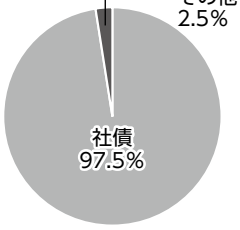
	銘柄	業種／種別	比率(%)
1	U S TREASURY NOTE	国債・政府機関債等	5.5
2	ELECTRICITE DE FRANCE SA JR SUB 144A	公益事業	1.3
3	ROYAL CARIBBEAN CRUISES	消費者サービス	1.2
4	KENNEDY WILSON EUR REAL	不動産（リート）	1.2
5	LORCA TELECOM BONDCO REG S SMR	電気通信サービス	1.1
6	UBER TECHNOLOGIES INC SR UNSEC SMR 144A	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.0
7	ORGANON & CO/ORG SEC REGS SMR	医薬品・バイオテクノロジー	1.0
8	AIR CANADA SEC 144A	航空	1.0
9	RESTAURANT BRANDS SEC 144A	消費者サービス	1.0
10	NEXI SPA SR UNSEC SMR	テクノロジー・ハードウェア・機器	0.9

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

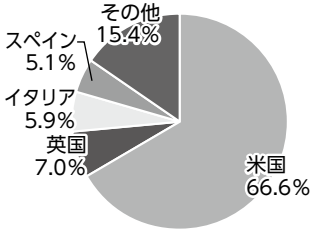
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

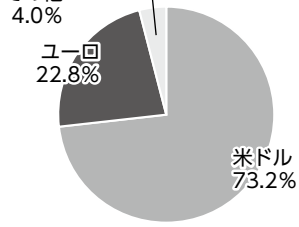
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※資産別配分は、デュレーションが１年未満かつＢＢＢ格相当以上の債券等については「その他」に分類しています。
※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

968469

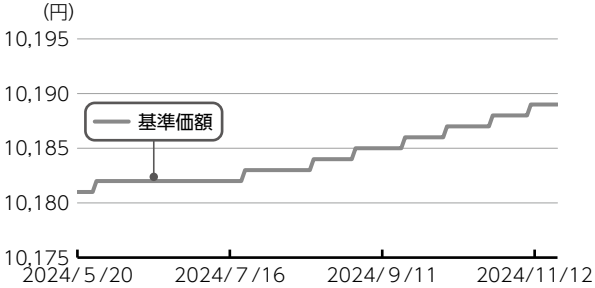
2024年11月20日現在

組入上位ファンドの概要

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2024年５月20日～2024年11月20日



１万口当たりの費用明細

2024年５月21日～2024年11月20日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成しておりません。

組入上位10銘柄

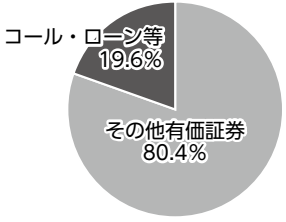
（組入銘柄数：３銘柄）

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	マルイグループ 241121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	54.8
2	ＪＦＥ 241121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	18.3
3	コスモエネＨＤ 241121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	7.3
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

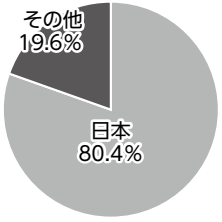
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

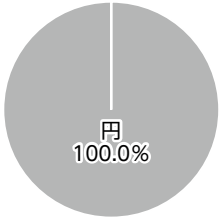
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『ICE BofA 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（ＢＢ－Ｂ、円ベース）』について

ICE BofA 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（ＢＢ－Ｂ、円ベース）とは、ICE Data Indices,LLCが算出する主な先進国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices,LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱ＵＦＪアセットマネジメントは許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。ＴＯＰＩＸの指数値及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、ＭＳＣＩ コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）

ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイドとは、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

MUFG

三菱UFJアセットマネジメント